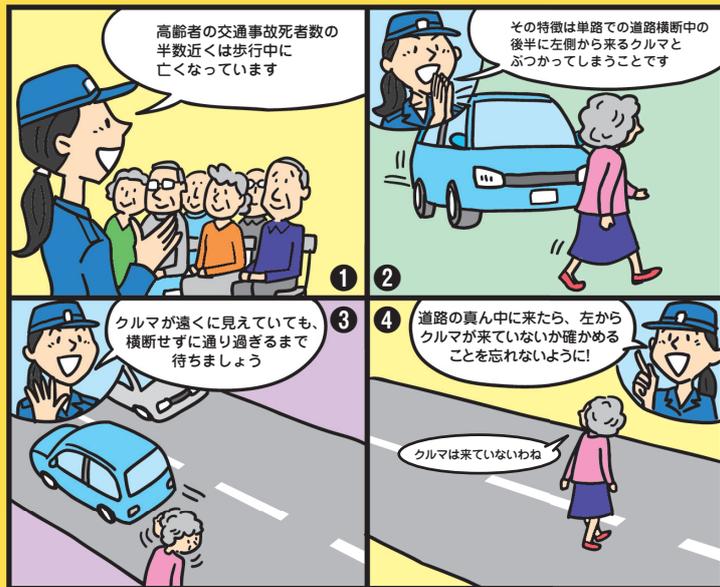


SJクイズ ?

[問題編]

Q1 平成 26 年の交通事故死者数を状態別にみると、高齢者（65 歳以上）では次のうちのどの状態が最も多いでしょう？

- ①自動車乗車中
- ②二輪車乗車中
- ③自転車乗用中
- ④歩行中



Q2 高齢歩行者の交通事故死者数を昼夜別にみると、昼間と夜間で多いのはどちらでしょう？

- ①昼間
- ②夜間

Q3 高齢歩行者の交通事故死者数を自宅からの距離別でみると、自宅から 500 m 以内で事故に遭った人は何%を占めているでしょう？

- ①約 40%
- ②約 50%
- ③約 60%
- ④約 70%

【使用上の注意】

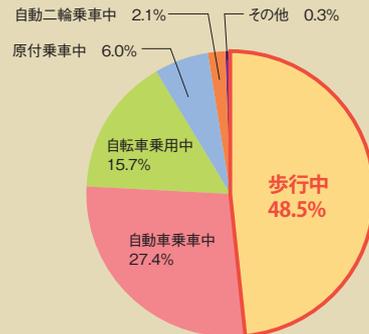
●営利目的での利用はおやめください ●内容の無断転載、無断改変、一部抜粋しての利用はおやめください ●その他、使用に関するご質問はお問い合わせください
本田技研工業（株）安全運転普及本部 TEL:03 (5412) 1736

Q1 解答 ④ 歩行中

<解説>

平成 26年の高齢者（65歳以上）の交通事故死者数は2193人で、これを状態別にみると、歩行中が1063人（48.5%）と最も多く、自動車乗車中600人（27.4%）、自転車乗車中345人（15.7%）と続く。歩行中事故の7割以上が道路横断中に起きている。事故の特徴として、横断後半に左側から来るクルマと事故に遭うケースが多い。近づいてくるクルマがある時は通り過ぎるまで待つなど、加齢に伴う身体機能の低下を踏まえた行動が求められる。

●高齢者（65歳以上）の状態別・交通事故死者数（平成26年・構成率）



※出典：交通統計（平成26年版）

Q2 解答 ② 夜間

<解説>

平成 26年の高齢歩行者の交通事故死者数を昼夜別にみると、昼間が378人対し、夜間は685人となっている。全年齢層でも、歩行中は昼間に比べて夜間の構成率が2倍以上（昼間：23.2%、夜間：49.6%）高くなっている。夜間、ドライバーは対向車や前車がない時にはロービームより遠くを照射できるハイビームを使用してください。一方、歩行者はドライバーに自分の存在を気づかせるために、白や黄色など明るい色の服装や反射材を着用しましょう。

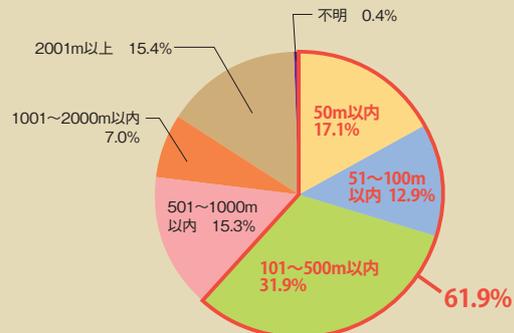
※出典：警察庁資料

Q3 解答 ③ 約 60%

<解説>

平成 26年の高齢歩行者の交通事故死者数を自宅からの距離別で見ると、自宅から500m以内で事故に遭った人は61.9%を占めている。50m以内も17.1%あることから、普段通り慣れた道でも油断せず、道路横断時などはクルマの接近を十分に確認することを指導者は伝える必要がある。

●高齢歩行者の自宅からの距離別死者数（平成26年・構成率）



※出典：交通統計（平成26年版）

【使用上の注意】

●営利目的での利用はおやめください ●内容の無断転載、無断改変、一部抜粋しての利用はおやめください ●その他、使用に関するご質問はお問い合わせください
本田技研工業（株）安全運転普及本部 TEL:03 (5412) 1736